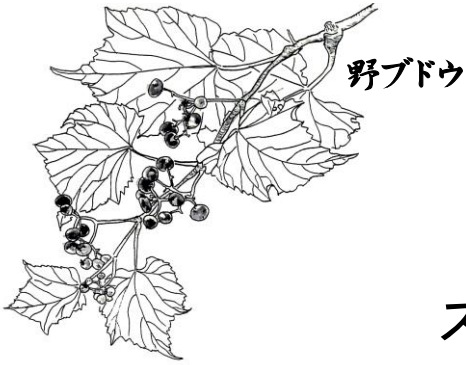


学園だより

令和元年9月12日 発行

中央区立宇佐美学園

静岡県伊東市宇佐美545番地



スモールステップで 園長 小久保 秀雄

まだまだ暑い日が続きますが、宇佐美学園も2学期が始まり、学園に元気な声に戻ってきました。今学期は新しい仲間が2名増え、3学年7名、4学年8名、5学年5名、6学年3名の計23名で新たなスタートを切りました。今学期も、宇佐美っ子たちは、各自のチャレンジシップに向かって全力投球をと、気持ちが盛り上がっています。

そんな宇佐美っ子たちに、始業式では『スモール・ステップ』の話をしました。ある目標を定めたとき、その目標が高く、大きなものであればあるほど、達成するまでには時間がかかったり、いくつもの壁があったりして、なかなかゴールにたどり着けないものです。そうすると、途中であきらめてしまったり、自分には力がないと自己否定をしてしまったりすることにつながってしまいます。そこで、「まずはここまで。それができたら、次はここまで。」というように、小さな目標（スモール・ステップ）を決めて進めていくことが大切になります。一つ一つ、実現可能な段階を経た目標を立

てることで、自分の到達度が見えて意欲が持続しやすくなったり、目指す目標が具体的に充実した活動につなげることができたりします。宇佐美っ子たちが自分のチャレンジシップに向かって、スモール・ステップを明確にして乗り越え、自己肯定感を高めながらゴールに向かうことを願っています。

2学期は1年間でも最も長い学期であり、運動会などの行事や各種体験活動をはじめとした学習・生活の両面で、子どもたちの成長が大きく期待できる学期です。学園の教職員一同、「チーム宇佐美」の力で子どもたちの教育活動を推進して参ります。保護者の皆様、地域の皆様には、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



教育センターでの理科実験教室



自由研究発表会



一輪車世界チャンピオン庄司さん・山本さんによる一輪車指導